

## 「SGH課題研究発表会I」への講評

2月15日(月)ブリックホールにて標記の会を開催し、SGH運営指導委員で長崎総合科学大学のブライアン・バークガフニ先生から以下の講評をいただきました。ありがとうございました。

### 【良かった点】

- ①長崎からグローバルな課題を考えるために、どの班も興味深い研究テーマを設定していた。
- ②高校1年生ながら、プレゼンテーションの表現力が豊かで、face-to-face のコミュニケーションであった。
- ③プレゼンテーション冒頭の英語によるサマリースピーチが素晴らしかった。
- ④週に1時間の授業で、実質半年の取り組みでありながら、楽しんで研究活動に取り組んだ姿勢が感じられ、「研究発表」となっていた。
- ⑤質疑応答のやりとりが温かかった(発表者と質問者双方へのリスペクトがあった)。

### 【改善すべき点】

- ①インターネットによる論文や情報検索に頼るのではなく、論文を読んだり、自分の足で調査探究したりする姿勢があるとよい。
- ②研究結果や考察において、論理が飛躍した班があった(合理性や根拠を欠いていた)。
- ③メモを読み上げるだけの元気がない発表をする班があった。
- ④ステージ発表では過度のパフォーマンスがあった。



## ディベートにチャレンジ!

高校1年生は「英語表現I」の授業で、英語によるディベートを行っています。5人1組のチームが「肯定側」と「否定側」に分かれ、与えられた命題に対して論理的で説得力のあるスピーチに挑戦しています。まず、下の4つの命題についてタブレット端末を利用し、調査活動を行いました。次に立論、データ、論拠、反駁、結論などを英語でまとめ、本番に臨みました。生徒からは、「もっと即興で話したい」「多角的な視点でグローバル課題について考えることができました。またやりたいです」といった感想が聞かれました。

- ①Japan should accept 800,000 Syrian refugees in 2016.
- ②Developed countries should give financial assistance to developing countries to help them reduce global warming.
- ③The Japanese government should require that 50% of companies' executives are women.
- ④Uber should be allowed to operate in Japan.



- ①日本は 2016 年にシリア難民 80 万人を受け入れるべきだ。
- ②先進国は地球温暖化を抑止するよう途上国に財政援助をすべきだ。
- ③日本政府は企業の管理職の 50%が女性であるよう要求すべきだ。
- ④ウーバー(タクシーの配車アプリサービス)の日本での運用が許可されるべきだ。